

## 福岡市保健福祉審議会健康づくり専門分科会(平成25年度第1回)

1. 日 時 :平成25年5月28日(火)15:00~17:00

2. 会 場 :福岡国際ホール 大ホールB

3. 出 席 者 :別紙のとおり

### 4. 議 事

(1)次期の健康日本21福岡市計画について

### 5. 議事概要

会 長 : パブリック・コメント手続により, 市民意見募集を約1ヵ月間実施した。本日はその内容をまとめているので, まずは市民意見を踏まえた修正について審議を行う。その後, 修正を反映した計画案についてご意見をいただき, 答申案としたい。  
それでは, まず事務局から資料の説明をお願いしたい。

事務局 : (資料1, 2の説明)

会 長 : ただいまの説明につきまして, ご質問やご意見があればお願いしたい。

委 員 : 資料2の1ページ目の修正箇所の部分で高血圧予防の測定ツールを「塩分濃度計」に修正しているが, ナトリウム摂取の減少のみを目標とするのであれば, 「食塩濃度計」ではないか。カリウム塩は削減対象とはしないのではないか。

事務局 : 一般的には「塩分濃度計」であり, 最も普及している名称で調整したい。

会 長 : ナトリウムやカリウムなどを含む総ミネラル量の測定しかできないので, そのような名称になっているのではないか。  
ところで, パブリック・コメントは, どのような形での提出が一番多かったのか。

事務局 : ホームページを見て電子メールで提出された方が最も多かった。

会長 : ホームページを通じての広報が一番周知に効果があったということだろう。変更点のみ説明いただいたが、その他にもかなりのコメントが寄せられている。事務局から追加で説明いただいてもよいか。

事務局 : 資料1の2ページで示したが、第1章の「基本事項」に関しては、どちらかという計画推進の応援の立場から予防の概念をしっかりと入れてほしいというご意見や、メディアや広報ツールを活用した啓発をしてほしいというご提案があった。第3章の「前計画の結果と課題」という項目では、評価のプロセスや課題の設定方法に関するご意見や、客観的評価指標が必要というご意見があった。第4章の「計画の目指す姿」では、わかりやすいキャッチフレーズ、予防の視点での計画策定の必要性、すべてのライフステージに関する必要性をきっちり進めてほしいというご意見が出た。「計画全般」では、食習慣や喫煙についてのご意見が多かったが、睡眠、飲酒、運動についてのご提案もいただいている。

会長 : 他はいかがか。おおむね全体のコメントは原案に取り込まれているということで、事務局で答申案を作成している。

委員 : 確認だが、目標年次の8年間の中で、中間評価は実施するのか。

事務局 : 別冊の計画の92ページの「進行管理と評価」に記載しているが、平成29年度に中間見直しを行う予定で、また国の制度改革や社会情勢にあわせて必要な見直しを行っていきたい。

委員 : この場の審議が終了すれば、計画の修正はできないということか。

会長 : ご意見をいただいて、どうしても必要ということであれば修正を行なうが、今日のご意見が最終ということになるだろう。本日いただいたご意見による修正は、会長預かりということで調整したい。

委員 : 資料1の3ページの意見2について。「原案どおり」となっているが、ご意見への対応と考え方の中に「インターネットやソーシャルメディアなど様々な媒体の活用を図る」とある。ソーシャルメディアといっても分かりにくいだろう。より分かりやすく、「様々なメディア等の活用を図る」などに修正した方がい

いのではないと思う。

**事務局**：本資料も市のホームページで計画とあわせて公表することになっているため、委員ご指摘のとおり修正したい。

**会長**：その他お気づきの点があればお願いしたい。

**事務局**：今のご意見についてだが、ソーシャルメディア等については別冊の計画の91ページの「推進手法」に同じ文章が入っている。ご意見だと、資料1の3ページの修正とあわせて計画本文も「様々なメディア等の活用を図ります」というシンプルな形に修正した方がよろしいか。

**委員**：インターネットはネットワークのことを指すので、混同されないようにしていただければよい。

**会長**：おそらく市ではいろいろな媒体があるのだろう。一番パブリック・コメントの提出方法として多かったのはホームページからの電子メールだった。「市のホームページなど様々なメディアの活用を図る」と修正してもいいかもしれない。

**委員**：COPDの数値目標について、「COPDを知っている人の割合が80%」となっているが、これはCOPDという言葉を知っているということなのか。

**事務局**：委員ご指摘のとおり、COPDという言葉を知っている人としている。

**委員**：タバコが原因で引き起こされるとか、大変苦しい、などCOPDの内容についての認識ではなく、あくまで言葉のことか。

**事務局**：まずは言葉を知るところから始めて、健康への影響の啓発もあわせて進めていきたい。

**会長**：今の委員のご意見はタバコの関連ももう少し知っていただきたいということだろう。COPDという言葉は新聞などでも露出度が高くなってきているが、その原因はほとんどがタバコだということをどれぐらい若い人が認識しているだろうか。主原因はタバコであり、禁煙の奨励が必要というご指摘だろう。

事務局：現状値の21.4%も COPD という言葉の認知度である。国の目標ともあわせて設定している。もちろんタバコが原因となることを知っていただきたいのは当然のことだが、まずは言葉の認知度を上げていきたい。

委員：別冊の計画の100ページ以降の「用語解説」について、論文だと単語の右上に「1）」とか、文献番号とか、資料編に飛べるような形になる。そうではない場合は、資料編何ページといった記載をする。せつかく末尾に用語解説があるので、わからない人はそこに飛ぶように、読みやすく、資料とのリンクができるようにできないか。

事務局：難しい専門用語はページの下に注釈を入れているところもある。計画では本文を読んだ時にわかりやすいように工夫をして掲載したい。

委員：初出の単語だけでも注釈を入れるなど、工夫をお願いしたい。

会長：主なところだけでもすぐに見られるようにすると親切である。

事務局：市民にとってよりわかりやすくなるよう工夫をしたい。計画はホームページにも公開する。

委員：別冊の計画の58ページの次世代の健康づくりについて。子どもを取り巻く社会環境の変化について、「食習慣と密接な関係があるため」とあるが、他では運動や睡眠も挙げているので、ここも「食事」、「運動」、「休養」の3要素としたほうがいだろう。

会長：私も食事ばかりではないと思うがいかがか。

事務局：食育という意味でそのように記載している。

会長：「食育、運動、休養等」とすべきだろう。  
今後のスケジュールでは、意見をとりまとめて、福岡市へ答申、計画策定、議会への報告となるが、時間的な余裕はどうか。この場が最終となるか。

事務局：本日の意見を元に会長にご確認いただき、答申後に福岡市で決定する。

委員：別冊の計画の42ページ④の飲酒の表現について、1行目の「アルコール

は全身の臓器に悪影響を及ぼし」という書き出しが適切ではないと思う。「過度のアルコール摂取」、「多量飲酒の習慣」というような前書きがあればいいが、現状では非常に冷淡である。

会 長 : 確かに過量のアルコール摂取についてのことである。そのように修正してはどうか。

委 員 : 他では、適正飲酒などの表現が出てくる。適切な表現にしてほしい。

事務局 : 適切な表現に修正させていただく。

委 員 : 別冊の計画の90ページの図19の計画の推進体制についてだが、ライフステージが4つ掲げている。対比した言葉が書いてあるが、「障がいのある人・ない人」のように障がい者のことも記載するべきではないか。運動や身体活動から縁遠いが、きちんと配慮していくという温かいまなざしが計画底流にもあると示すため、この言葉をとりあげてほしい。

会 長 : 大変大切だ。

事務局 : ご指摘のとおり追加させていただく。

会 長 : それでは次に、資料3について事務局から説明いただきたい。

事務局 : (資料3の説明)

会 長 : 資料3について、ご意見はないか。

(意見なし)

本日いただいた意見を踏まえて文章に修正を加えて、会長で調整し、答申案とする。

本日の討議内容はこれですべて終了となるが、全体を通じてご意見はないか。なければ、次期の健康日本21福岡市計画の審議をすべて終了する。

(意見なし)